



コスト改善力で生き残れ！ 『積上げ型から理想追求型コストダウンへ』

日時／2022年7月20日(水) 21日(木)
10:00~17:00

受講料／日本IE協会・他地区協会会員 72,600円
一般 88,000円
日本生産性本部 賛助会員 83,600円
(一名様につき 税込み・テキスト代込み)



講師
(株)MEマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント・公認会計士
橋本 賢一 氏

どれくらいコストダウンできるかが事前にわかる

貴社のコストダウン活動は会社の利益に繋がっていますか？繋がらないとすれば以下のよう
な、心当たりはありませんか？

- ・不良・稼働ロスなどの見える所だけしか改善対象に取り上げていない。
- ・業務上の役割や課題が曖昧なままに思いつきの改善に終始している。
- ・改善成果の予測がないままに積み上げ型の改善をしている。
- ・改善対象を効果の大きい順ではなく赤字製品から選択している。
- ・量(加工)より質(段取りのようなやり易い)工程・作業を改善対象を取り上げている。
- ・コストダウンより設備改善・自動化することが目的になっている。

演習用の Windows PC
の準備を推奨します

戦略的な原価革新とは、コストダウンの役割と課題を対象に、理想原価追求型のコストダウンを展開することです。
「誰が、何をすれば、どれくらいコストが下がるか」が、実施前に明確になれば、ねらい通りのコストダウン成果を
実現できます。原価低減から原価革新への転換こそ、グローバルな競争下の経営に求められる効率追求ではないでし
ょうか。経験豊富な講師が演習を交えて、詳細にわかりやすく解説します。皆さまのご参加をお待ちしております。

【 プログラム : 7月20日(水) 21日(木) 10:00~17:00 】

第1章 これからの原価革新戦略 —原価低減から原価革新活動へ—

- 1-1 なぜ日本企業の収益性と生産性は低いのか
- 1-2 管理・マネジメント力を強化する
- 1-3 経営資源の利用効率を高める

原価革新活動の進め方

第2章 コストを見えるようにしてねらいを絞る —順調と思える所にCD余地が—

- 2-1 誰がコストを下げるのか—役割を明確にする
- 2-2 何をすればコストが下がるか—課題を明確にする
- 2-3 どれくらいコストダウンできるか—あるべき姿
- 2-4 技術段階の究極の原価=理想目標原価
- 2-5 製造段階の究極の原価=理想標準原価

コストダウン余地分析

どのようなロスが見えるか

第3章 コストダウンを経理数字につなげる —原価情報システムの一元化—

- 3-1 総資本利益率の向上へ
- 3-2 財務会計と管理会計上の整合性
- 3-3 目的に合う原価データを整備する
- 3-4 技術と製造のコストダウン努力を評価

製品別/部門別原価計算

第4章 開発・設計段階の原価革新 —原価企画によるコストマネジメント—

- 4-1 技術段階の原価管理は原価企画で行う
- 4-2 適正品質追求によるコストダウンの進め方
- 4-3 開発・設計段階の理想材料費の実現
- 4-4 最適生産の追求と理想加工費の実現
- 4-5 基本機能だけでできるライン
- 4-6 最適設備を選択する

理想材料費問題

理想加工費問題

第5章 製造・管理段階の原価革新 —標準原価管理によるコストマネジメント—

- 5-1 製造・管理段階の原価管理は標準原価管理
- 5-2 理想標準材料費を追求する
- 5-3 理想標準労務費を追求する
- 5-4 直接労務費の変動費化

原価責任問題

操業計画

第6章 製造・管理段階の原価革新 —標準からの乖離を徹底指導監督—

- 6-1 見えるようにすることから始める
- 6-2 実行を促すアクションミーティング
- 6-3 管理者のマネジメントとリーダーシップ
- 6-4 人はどうしたらやる気になるか

動機付け理論

講師紹介

(株)MEマネジメントサービス

マネジメントコンサルタント・公認会計士 **橋本 賢一 氏**

公認会計士事務所を経て、日本能率協会コンサルティングに入り、原価革新や生産性向上のコンサルタントとして活躍。1985年(株)MEマネジメントサービスを設立し、製造業を中心に、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を革新するコンサルティング活動を中心に行う。日本国内のみならず、中国・タイ・韓国などの海外でもコンサルティング活動を中心に活躍中。

著書は『見える化でわかる限界利益と付加価値』『間接・サービス部門の原価管理』『見える化でわかる売り値と買い値』、『よくわかる「ムダとり」の本』共に日刊工業新聞社。『正しい意思決定のための経済性工学の本』、『よくわかる原価のしくみ』、『実践 原価計算』共に日本能率協会マネジメントセンターなど多数。



参加申込は

FAX (03)-3511-4069

ホームページ <https://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ
このままFAXにて
お申込みいただくことも
できます。

参加者および申込責任者が上記の「個人情報の取り扱いについて」に同意した上で申し込みます。

『積上げ型から理想追求型コストダウンへ』

CG17 7月20日21日開催 青木・河辺

■ 貴社名		■ 所在地(〒 - 氏名)	
氏名		所属・役職	
TEL/FAX			
申込責任者	フリガナ	E-mail	TEL: FAX:
参加者(1)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
参加者(2)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
合計【 】名		参加費【 円】	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受け後、おおよそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【(注) ※キャンセルは、必ずE-mail、または、FAXにて、日本IE協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)：参加費の50%
- ・開催日の前日および当日：参加費の全額(料金のご返金はできません)

「個人情報保護の取り扱いについて」をご一読いただき、同意の上、ご記入ください。ご同意いただけましたら同意署名に印印をお付けください。

個人情報の取り扱いについて同意する。

【個人情報の取り扱いについて】 ※日本IE協会と(公財)日本生産性本部は、2011年4月に事業統合しました。

(公財)日本生産性本部・日本IE協会では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、日本IE協会のプログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

- 利用目的：①本プログラムに関する各種連絡、資料等の作成・配布、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。
②日本IE協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査。
※上記以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。
- 個人情報の第三者提供について：法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。
- 業務委託について：本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。(公財)日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
- 写真等の利用について：本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、日本IE協会の広報宣伝活動に使用することがあります。
- 皆様の権利：個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。その際は、以下までご連絡ください。【連絡先】日本IE協会：03-3511-4062